



H A S H I K A M I

2015年(平成27年)

# No.22

8月号(August)

# はしがみ 議会だより

暮らし人  
地域を豊かに



プール遊びで、きらきらと笑顔はじける子どもたち(石鉢保育園の園児)



三陸復興国立公園  
みちのく潮風トレイル  
日本ジオパーク認定

青森県階上町議会

02 6月定例会

社会保障税番号制度  
ネットワーク構成に  
1,638万円

04 ここが聞きたい

3議員が一般質問

08 特集 区長に聞く

平内行政区

# 第4回 6月定例会

平成27年第4回定例会を6月16日開会し、6月19日閉会しました。今回の議会では、報告3件、条例の一部改正3件、補正予算2件、その他3件、計11件が上程されました。審議の結果、いずれも全会一致で承認、可決しました。一般質問は、3人の議員が行いました。

## 社会保障・税番号制度対応に1638万円 一般会計補正予算 964万円を増額補正

### ▽27年度一般会計補正予算 (第1号)

964万円を増額補正し、  
予算総額を58億8964万円としました。

歳入(収入)は、国庫支出金177万円、県支出金96万円、諸収入240万円、町債450万円を増額しました。

歳出(支出)は、衛生費967万円、土木費122万円等を減額し、総務費1760万円、民生費621万円、農林水産業費241万円等を増額しました。

歳出の主なものは、社会保障・税番号制度に対応するためのネットワーク構成委託料1638万円、小舟渡漁港施設機能保全事業に係る青森県への負担金500万円等です。

### ▽27年度介護保険特別会計 補正予算(第1号)

213万円を増額補正し、  
予算総額を12億6453万円としました。

歳入は、低所得者保険料軽減強化事業により保険料から292万円を減額し、  
国庫支出金83万円、県支出金41万円、繰入金381万円を増額しました。

歳出は、地域支援事業費212万円等を増額しました。

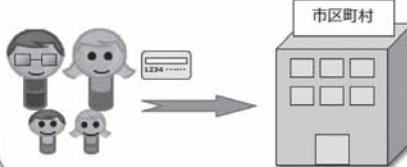
### ▽26年度一般会計繰越明許 費繰越計算書報告

26年度に完了が困難な、  
庁舎整備事業8878万円、  
税滞納管理システム導入事業41万円、  
県議会議員一般選挙費92万円、  
プレミアム商品券発行事業1945万円

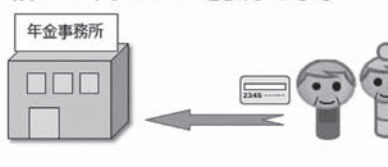
円、低所得者等向け商品券給付事業1126万円、子育て支援商品券給付事業793万円、  
まち・ひと・しごと創生総合戦略策定事業1027万円、  
移住・定住推進事業238万円、  
地域消防防災強化事業435万円、  
子ども医療費給付事業1801万円、  
観光推進事業225万円、  
階上地区水産物供給基盤機能保全事業5304万円、  
新田・長久保線外舗装修繕事業965万円、  
寺下橋改修事業2759万円、  
蝙蝠・鳥屋部線道路改良事業270万円、  
大蛇踏切・追越浜線外道路改良事業543万円、  
大蛇地区復興避難路整備事業1億8956万円の、  
合計4億5397万円を27年度へ繰越すものです。

マイナンバーは次のような場面で使います。

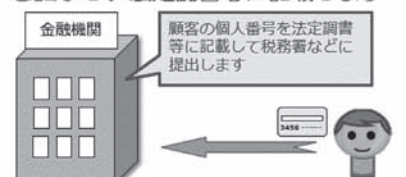
毎年6月の児童手当の現況届の際に  
市区町村にマイナンバーを提示します



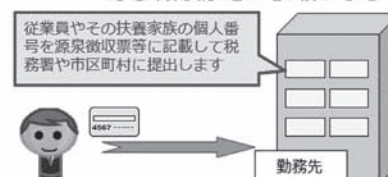
厚生年金の裁定請求の際に年金事務所  
にマイナンバーを提示します



証券会社や保険会社等にマイナンバー  
を提示し、法定調書等に記載します



勤務先にマイナンバーを提示し、  
源泉徴収票等に記載します



国民の皆さまは行政機関や民間企業等へのマイナンバーの告知が必要となります。

▽26年度国民健康保険特別会計繰越明許費繰越計算書報告  
26年度に完了が困難な、税滞納管理システム導入事業67万円を27年度へ繰越すものです。

▽26年度公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書報告  
26年度に完了が困難な、公共下水道事業4946万円を27年度へ繰越すものです。

▽町指定地域密着型介護予防サービス事業の人員、設備及び運営並びに指定防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例の一部改正

▽町介護保険条例の一部改正  
介護保険法施行令の一部改正に伴い、第1号被保険者（65歳以上）の保険料について、低所得者の保険料の軽減を強化するための改正。

▽町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準に関する条例の一部改正

▽青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の減少及び青森県市町村職員退職手当組合規約の変更

介護保険法施行規則等の一部改正に伴い、指定地域密着型サービス事業について、その人員、設備、運営に関する基準を、国の基準に合わせるための改正。

▽町指定地域密着型介護予防サービス事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例の一部改正

介護保険法施行規則等の一部改正に伴い、指定地域密着型介護予防サービス事業について、その人員、設備、運営並びに介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を、国の基準に合わせるための改正。

▽青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の減少及び青森県市町村職員退職手当組合規約の変更

構成団体の減少に伴い、青森県市町村職員退職手当組合規約を変更するものです。

▽青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の減少及び青森県市町村総合事務組合規約の変更  
構成団体の減少に伴い、青森県市町村総合事務組合規約を変更するものです。

▽固定資産評価審査委員会の委員に選任する者につき同意を求めること  
1人の委員の任期満了に伴い、高階繁雄氏の選任に同意しました。



高階 繁雄 氏

平成27年度 各会計の補正予算額

区 分	補 正 額	→	予 算 総 額
一 般 会 計	964万円	→	58億8,964万円
介 護 保 険 特 別 会 計	213万円	→	12億6,453万円

議 長 交 際 費 執 行 状 況

番号	支払区分	支払月日	支 払 内 容	支出金額
1	祝 金	6月10日	町消防団OB会総会	3,000円
2	会 費	6月25日	八戸地区連合防犯協会定時総会	5,000円
3	祝 金	7月12日	いちご煮祭り in 東京&第6回ふるさとはしかみ会定期総会	10,000円
4	祝 金	7月24日	町遺族会定時総会	3,000円
5	会 費	7月31日	A L T ニコラス・スワンソンさん激励会	6,000円

一般質問

# ここが聞きたい

6月定例会では3人の議員が登壇し、町側の考えをたしました。要旨を掲載しています。



林 頁 議員

**Q①**

総合運動公園の建設計画は、凍結して10年が経過するが、現在もその考え方に変わりはないのか。また、パークゴルフ場の整備予定はどのようになっているのか。

町は、パークゴルフ場の閉鎖、道仏体育館の取り壊し等スポーツ関係施設を廃止しているが、今少子高齢化だからこそ、スポーツレクリエーションの振興を図るためにもスポーツ施設が必要なのではないかと考える。

また、スポーツ少年団に対する育成は、スポーツ面だけでなく、青少年の健全育成の観点からもその育成と支援が必要と考えている。

他県では、市町村単位で振興しているが、当時の支援策は。



スポーツ少年団の野球大会

**A①**

町長 総合運動公園建設構想を策定した当時と現在では、少子高齢化、人口減少等の社会問題等により状況が変化してきている。現在の利用者のニーズや、財政状況等勘案し、総合的な整備に限定しないで、対応可能なものから整備する方向である。

質問のパークゴルフ場は、農村公園多目的利用の一つで、もともとパークゴルフ場ではない。整備については、場所の選定も含め検討中である。

スポーツ施設の建設、スポーツ少年団の育成支援は

町長／財政状況等を勘案し、検討していく

**A①**

教育長 スポーツ少年団の育成支援は、階上町体育協会と階上町総合スポーツクラブ「ライズはしかみ」が、スポーツ振興の核となり、競技スポーツ、ニュースポーツ等の振興に努めている。各スポーツ少年団も、子ども達の健全な成長の糧となることであり、町としてもその活動を注視しながら、現在の対応を継続していく。

**Q②**

わっせ交流センターの管理運営はNPO法人による指定管理者制度で運営されているが、組織の状況、販売状況、契約年数、平日も営業して経費等の採算は大丈夫なのか、今後の見通しは。指定管理料は810万円とのことだ



わっせ交流センター

**A②**

町長 現在、管理運営しているNPO法人「はしかみ岳より未来へ」は、個人・団体含め、正会員78名、賛助会員28名で、主に平内・晴山沢地区の方々で組織されている。階上早生そば、食堂運営等の販売状況は、2カ月で230万円と聞いている。運

が、赤字の場合どこが負担するのか。

**Q③**

ハマの駅建設事業計画における、全体事業費の中の主たる内容と、多面的な費用対効果の見直しをどのように考えているか。建設場所等の問題はないか、今一度精査して取り組んで頂きたい。

**A③**

町長 この事業は浜の活力再生プランとして、5年間で漁業者の所得向上10%以上を目指し、浜の活力を取り戻すためのプラン策定が要件であり、階上地域水産再生委員会の承認を得て、県及び水産庁と事前協議、12月に国から承認された。事業費は2分の1の国庫補助で概ね3億円と想定、費用対効果と場所等は関係者と十分協議し検討する。

営が初年度でもあり、赤字の場合、これまでの3年間の経験を活かして、指定管理料も、まず今年度を検証して見直ししていく。



森 榮吉 議員

## 消防団をはじめとする婦人会、 老人クラブ等への加入促進対策について

### 町長／町民との連携を深め、多くの関心を 集めることにより加入促進を図る

**Q①** 全国、全体的に  
少子高齢化が叫ば  
れており、本町に  
とつても例外ではなく憂  
慮すべき問題となってい  
る。そのような中で新た  
に問題視されているのが  
各団体への加入者不足で  
ある。

とつては、これら多くの  
団体の衰退は決してプラ  
スに作用するとは考えら  
れない。各団体の現状と  
町としての加入促進への  
支援策は。

**A①** 町長 消防団への  
加入促進について  
は、現在、町消防  
団員の定数は170名で

あるが、定数割れのまま  
推移して現在は147名  
となっている。

町としても、防災訓練  
等における消防団との連  
携、各種イベントでの消  
防団の活動内容の紹介や  
歴史的・伝統的価値の再  
認識などによる、消防団  
に対する地域住民の理解  
が深まるよう努めるなど、

一層の加入促進を図る。  
現在、町消防団では、  
2名の女性消防団員が活  
躍しているが、男女共同  
参画社会形成の視点から  
も、女性の加入促進を、  
併せて図っていく。

婦人会については、会  
員不足によって単位婦人  
会が活動を休止するなど、  
運営に苦慮していると聞  
く。これまで連合婦人会  
が各单位婦人会をけん引  
する役割を担いながら、  
活動を継続してきている  
ことは、役員各位の努力  
の結果と感じている。

町では、婦人会活動に  
対しては、運営費の一部  
を補助しているほか、こ  
れまで同様の支援を継続  
していく方向である。  
老人クラブについては、

現在、町内の老人クラブ  
は、8単位老人クラブ、  
会員279名で、健康・  
友愛・奉仕活動を中心に  
各種事業を実施しており、  
社会参加活動の推進と合  
わせて、高齢者の方々の  
心身の健康増進が図られ  
ている最中である。

今年、町老人クラブ  
連合会結成50周年の節目  
の年であるため、町とし  
ても会員の加入促進を含  
め、活動の充実と更なる  
発展のための支援と協力  
に努めていきたい。

**Q②** 消防団・婦人  
会・老人クラブの  
組織が衰退するこ  
とのないよう、しつかり  
した支援をお願いしたい  
が、それについて町長の  
考えは。

町長 多くの方々  
に関心をもって  
いただいで、共に支  
え合うという意識を高め  
ていくことにより、支援  
をしていきたい。

**A②** 町長 多くの方々  
に関心をもって  
いただいで、共に支  
え合うという意識を高め  
ていくことにより、支援  
をしていきたい。

例えば消防団は、定員  
制が設定されているよう  
ではあるが、加入者が少  
なく、十分な団員確保に  
は至っていないようであ  
る。また、婦人会や老人  
クラブ等においても参加  
者が少なく、各団体の  
リーダーは頭を悩ませて  
いると聞く。同じような  
悩みを抱えている団体は  
他にも存在するものと推  
察できる。

活性化を推進する町に



あなたの想いで、守れる街がある。  
あなたの想いで、救える命がある。  
あなたの想いで、深まる絆がある。

## 消防団員募集

消防団員募集センター 消防団員募集センター 消防団員募集センター



老人スポーツ大会



大下 修 議員

## 浜の活力再生プランの中心組織と今後の方向性は

### 町長「産地協議会」を中心に検討し 6次産業化を進めていく

**Q①** 浜の活力再生プランにおける施設の規模を示せ。また、運営母体とその経営はどこになるのか。

国から承認されたプランの基本方針に「漁業者は、ウニ、アワビの種苗を購入放流し資源増大を図るとともに、資源確保の為に取組を強化していく」とあるが、種苗の購入、放流の経費の負担者は誰を想定しているか。

また、家族で磯遊びを楽しむ「磯牧場」やバーベキュー等のできる集客を高める環境整備を図るべきではないか。

県管轄の小船渡漁港の整備と道仏漁港の砂の撤去について示せ。

人口減少について、大胆なインパクトのある施策を示せ。

**A①** 町長 設置場所は、大蛇地区さわやかトイレ付近の予定で、敷地は大型バスの駐車も想定し決定していきたい。

規模は、産直や加工、食事や休憩室、体験学習等を兼ね備えた一部二階建ての110坪程度を想定している。運営母体と運営母体の経営は産地協議会を中心に検討していく。

種苗放流事業は町からの補助金を活用し、近年は生産量や生産額など年々事業効果が報告されている。今後は新たな漁業振興策補助事業と再生プランとともに、6次産業化を展開していくこととし、組合主導の下これまでの実績を推進させていきたい。

集客を高める環境整備は、水産業振興協議会で実施している「海の学校」の継続と親子体験教室の開催などを検討している。

漁港整備については、これまで安全確保の為に施設整備等を実施してきたが、今年度より県が事業主体となり平成32年度までの計画で「水産物供給基盤機能保全事業」に着手することとした。

砂の撤去については、県と町が連携し漁港の漂砂の撤去維持管理に努める。

人口減少対策については、平成27年度中に「階上町人口ビジョン」と「階上町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定する。現在全庁あげて取り組んでいる。



ハマの駅(仮称)建設計画予定地

**Q②** 放流事業は、漁協、漁業者の所得向上が軌道に乗るまで補助が必要ではないか。

人口減少対策について町民の声を聴くため、地域別や若い方々、女性のメンバーを考えているか。

**A②** 町長 国県補助に町で上乗せをして放流助成の結果、ある程度の収入がある。今後は部会主導でお願いしたい。町としては、新たな事業を興し浜活に繋げ、漁業所得に繋げていきたい。

**A②** 総合政策課長「階上町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の中で地域の方々、若い女性、農業者等をメンバーとして計画を策定していく。

**Q③** 放流は時間が経過して結果が出るので、その数字を見ながら関係者と相談し

て、漁業者の所得アップを検討していただきたい。浜の活力施設は冬場の集客が大変だと感じるが、その対応策は。



種苗放流事業

**A③** 町長 ウニ、アワビだけに頼らない漁業所得アップの視点から、総合的に現在の生産額等も踏まえ検討し、漁業者の方々と協議する。

冬場の集客はどの地域でも大変懸念されている。特に海辺の厳しさがあるが、種差海岸は大変賑わっているので種差海岸と連動して観光客、地域の皆さんが階上の海岸へ寄っていただくよう、八戸市と連携しながら検討していく。いろいろな意見、アイデア等を聞かせて頂き参考としたい。

# 議会活動

## 6月

- 3日 郡町村議会議長会臨時会
- 5日 第67回三戸郡総合体育大会結団式
- 6日 はしかみ臥牛山まつり
- 10日 町消防団OB会総会
- 11日 議会運営委員会
- 14日 郡総合体育大会開会式
- 16日 第4回定例会本会議
- 16日 議員全員協議会
- 18日 第4回定例会本会議
- 18日 水道企業団概要説明会
- 19日 第4回定例会本会議
- 19日 町老人ゲートボール大会
- 21日 大島理森氏衆議院議長就任祝賀会
- 23日 第30回南部町さくらんぼ狩りセレモニー
- 25日 町商工会建設工業部会安全推進大会
- 25日 八戸地区連合防犯協会定時総会
- 26日 町立小学校陸上競技記録会
- 26日 三八地方森林組合第13回通常総代会

## 7月

- 26日 八戸平原総合開発促進協議会第49回定時総会
- 29日 階上種市岳観光開発促進協議会総会
- 5日 第28回階上町内駅伝競走大会
- 8日 八戸・久慈自動車道建設促進期成同盟会要望活動(岩手)
- 9日 県下町村議会議員研修会
- 10日 北奥羽開発促進協議会定例総会
- 12日 いちご煮祭りin東京&第6回ふるさととはしかみ会定期総会
- 14日 主要地方道八戸大野線整備促進連絡会定例総会



- 15日 八戸・久慈自動車道建設促進期成同盟会要望活動(青森)
- 19日 たねいちウニまつり
- 19日 日吉神社例大祭
- 21日 夏の交通安全県民運動に係る階上町街頭広報活動
- 24日 町遺族会定時総会
- 24日 青森県民体育大会結団式
- 25日 はしかみいちご煮祭りセレモニー
- 27日 定住自立圏議員連盟役員会
- 28・29日 八戸・久慈自動車道建設促進期成同盟会要望活動(仙台・東京)
- 30日 主要地方道八戸大野線整備促進連絡会要望活動
- 31日 A.L.T.ニッポラスさん激励会

### 県下町村議会議員研修会

7月9日、青森市で開催された「県下町村議会議員研修会」に、議員12人が参加。

- 講師 青森県知事 三村申吾氏
- 演題 「平成28年度重点施策提案について」



### 議会だより編集委員会

- ◇今月号の編集委員
  - ・上道二三男 議員 (総務財政)
  - ・畑中 弘實 議員 (教育民生)
  - ・小松 雅彦 議員 (産業建設)
- ◇編集委員会の開催
  - ・第1回 7月16日
  - ・第2回 7月23日
  - ・第3回 7月28日
  - ・第4回 8月3日





ほのぼのの交流会の様子

加工施設など、そば振興の拠点施設として活用されています。また、そばの製粉をはじめ、そば打ち体験や食堂経営などは全て地元の方々により運営されているほか、地域のコミュニケーションの場としての集会所や運動施設としても幅広く利用されています。



道路側溝の蓋を整備する地区住民

**Q** 議会や議会広報への意見・要望はありませんか。  
**A** 議会だよりは、議会活動などの情報が分かり易くまとめられていると思います。住みよいまちづくりのため、今後益々の活躍にご期待申し上げます。  
 (ご協力ありがとうございました。)

階上町には、19の行政区があり、各地区で、まちづくり計画を作成し、協働のまちづくりを進めています。  
 計画期間は、2029年度の10カ年。2024年度に前期計画を実施、2529年度の後期計画を実施中です。  
 今回は、平内行政区の鳩文男区長にお話を伺います。



鳩 文男 区長

**A** 平成20年4月に地区の方々の推薦をいただき、引き受けました。これまで地域住民のご協力により活動して参りましたが、早いもので、3期8年目を迎えました。

**Q** 区長になったきっかけは。

**Q** 平内行政区はどんなところですか。

**A** 階上岳のふもとに位置し、緑豊かで、のどかな田園風景が広がる所です。しかし、当地区は、年々少子高齢化が進み、近年子どもの減少が著しく進んだことから、平成22年3月に135年の歴史ある「登切小学校」が閉校となりました。これにより、平成24年4月に「わっせ交流センター」として生まれ変わり、階上早生そばが食べられる食堂や直売所、加工施設など、そば振興の拠点施設として活用されています。また、そばの製粉をはじめ、そば打ち体験や食堂経営などは全て地元の方々により運営されているほか、地域のコミュニケーションの場としての集会所や運動施設としても幅広く利用されています。

## 豊かな自然と歴史文化が薫る里

**Q** 前期計画では、どんなことを行いましたか。

**A** 地区の方々が暮らしやすい環境をめざし、お年寄りでも楽に取り扱えるゴミ箱を設置したり、ひとり暮らし世帯の除雪やゴミだしの応援体制、歩道の除雪作業を行いました。また、道路の安全対策として側溝の蓋を協働作業により整備したり、花いっぱい運動、道路沿いの草刈り清掃作業など快適な環境整備も継続して行いました。

**Q** 後期計画のおもな取り組みは。

**A** わっせ交流センターをコミュニケーションの場として活用し、元気な高齢者と若者とのコラボにより地域の活性化を図りたい。そのためには、少子高齢化の過疎地域という負のイメージをあえて逆にとり「大自然とふれあえる安らぎの地域」と位置付け「世代間の交流会」や「空き家を活用し仲間を迎える施策」など、独自の生活文化を取り入れた新たなイメージを築いていくことが必要と考えています。

### 編集後記

今回、初めて議会だより編集を担当させていただいた委員もありましたが、皆様と議員・議会の架け橋となれるように、また活動をわかり易くお知らせできるよう努めますのでよろしくお願いいたします。(畑中・上道・小松)

### 議会傍聴者

- ・第4回定例会 (平成27年6月)
- 6月16日(2人)
- 6月18日(11人)
- 6月19日(2人)

